

あわら市交流事業 問 指導課 ☎44-0746 FAX43-9608

互いの良さを学ぶ、あわら市と教育交流

8月23～25日の3日間、市内3中学校生徒会本部役員や教職員などの組織された訪問団41名が、平成27年11月姉妹都市を提携した福井県あわら市との教育交流事業を行いました。目的は教育交流を通じて互いの市の良さを学び、教育水準の維持向上に役立てることです。

訪問団は、生徒と教職員に分かれて、市内見学、自然体験や交流研修会を行いました。生徒の交流研修会では、市や学校の紹介を行った他、研修会場の「芦原青年の家」と千代川中をインターネット回線をつなぎ、生中継による会議を行いました。

今回の訪問の成果は、12月3日の下妻市教育振興大会で発表される予定です。また、今後の交流計画では、あわら市との下妻市が隔年でお互いの市を訪問することになっており、来年度はあわら市の訪問団が来訪する予定になっております。



教育交流をした両市の生徒と教職員(芦原青年の家で)

浦安市交流事業 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

深まる友好交流、「浦安市防災訓練」で下妻市をPR

9月24日、「浦安市防災訓練」が浦安市総合公園で行われ、自衛隊や浦安市民など約2万人が参加する中、下妻市からも昨年に引き続き参加・出展し、両市の友好交流を行ってきました。

会場では、災害時の安全行動を確認するシェイクアウト訓練、災害救助犬と消防署・消防団による倒壊家屋からの被災者救出訓練や生物剤と化学剤に起因する災害を想定したBC災害対応訓練などが行われました。展示エリアに出展した下妻市のPRブースでは、新鮮な千石きゅうり、なす、栗などを販売し下妻市のPRを行いました。アールスメロンを買った70代男性は「毎年、下妻のメロンを楽しみにしている。値段も手頃でおいしい」と話してくれました。相互交流により浦安市民に下妻市が認知され、身近な存在となっています。



PRブースを訪れる浦安市民(浦安市総合公園)

有料広告欄

鬼怒川緊急対策プロジェクト 問 建設課 ☎45-8125 FAX43-2945

前河原築堤工事の第2期工事見学会開催 石井国土交通大臣が現地を視察

■前河原築堤工事見学会

9月9日、「関東・東北豪雨」で大規模な溢水が発生した前河原地区で国土交通省関東地方整備局下館河川事務所が主催する築堤工事の第2期工事見学会が、前河原地先の鬼怒川左岸で開かれ、地域住民や行政関係者など約40人が参加しました。

見学会では、工事概要の説明を受けた参加者が堤防への芝張りや高所作業車に乗って上空から堤防の工事状況や鬼怒川を眺める体験をしていました。



芝張り体験をする参加者



堤防を歩きながら工事の説明を受ける参加者

■石井国土交通大臣が視察

9月10日、石井国土交通大臣は前河原地区の築堤工事現場や「関東・東北豪雨」で大きな被害を受けた常総市を訪れ、鬼怒川の堤防のかさ上げ工事の現場などを視察し、「一日も早い完成を目指して最大限努力していく」と述べ、整備を急ぐ考えを示しました。

また、大臣は稲葉市長や常総市の神達市長と会談し、被災地の復興や地域の活性化につなげるべく、鬼怒川の堤防にサイクリングロードを整備する事業の実現に向けて意見を交わしました。



前河原地区で石井大臣(左)に被害状況を説明する稲葉市長(中)と須藤議長(右)

産業振興・海外輸出 問 農政課 ☎44-0729 FAX43-3239

下妻の梨ベトナムへ 輸出本格化で市長がトップセールス



梨のPRする稲葉市長(イオンホーチミンで)

ベトナムへの梨の輸出は、平成29年1月のベトナムでの日本産ナシの輸入解禁を受け、全国に先駆け、生産者とJA常総ひかり、県、市が連携し、登録申請や商談などを行ったことにより、初年度で100トンもの輸出量を確保することができ、輸出本格化となりました。

この契機に下妻の梨のブランド化を進めようと、9月23日、イオンホーチミンにおいて、稲葉市長は、関係者と共に記念セレモニーや試食販売プロモーションに参加してトップセールスを行いました。

稲葉市長は9月22～24日の3日間、ベトナムのホーチミンへ渡り、現地流通業者や販売店舗などを訪問し、下妻の梨の魅力アピールしました。経済成長著しいベトナムで下妻の梨は、国内の取引価格より2割以上高く、今後は300トンまで輸出拡大を目指します。